



Rotary International  
District 2660

2008~09年度  
**RI第2660地区  
重点活動項目**

ガバナーエレクト 横山守雄

2008-09





**1** 「職業倫理の向上を目指し、  
**四つのテスト**を実践しましょう」

**2** 「クラブ発展のための**将来計画**を立て、  
その**実行に着手**しましょう」

**3** 「地区活動の**スリム化**に取り組みましょう」



## 1

「職業倫理の向上を目指し、  
**四つのテスト**を実践しましょう」



## 四つのテスト

---

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

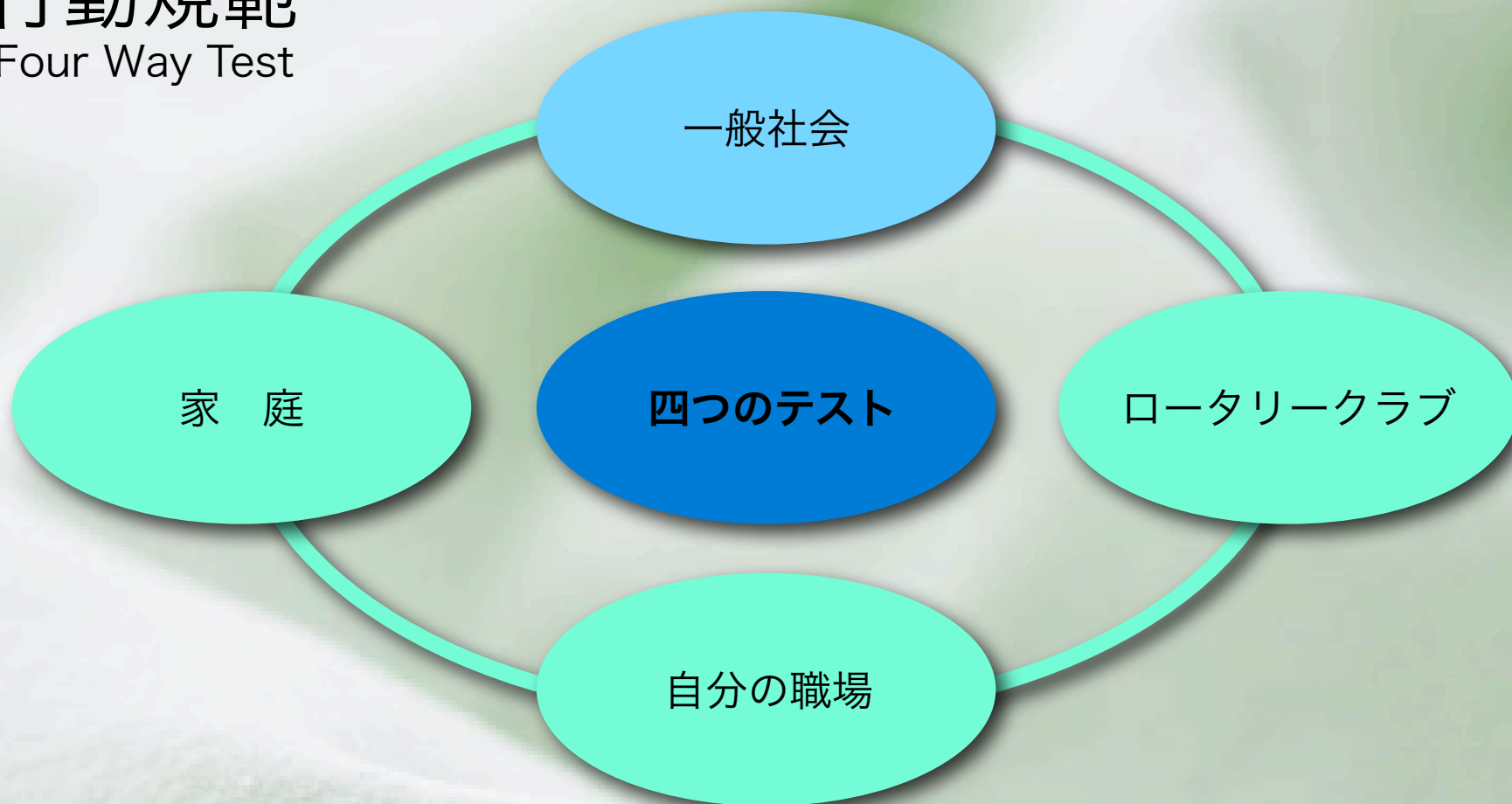


ロータリーは、個々のロータリアンが  
高い倫理基準を保ち、  
自分の職業を品位あらしめることを目標に  
集まった人々の国際的な組織。



# 行動規範

Four Way Test





各クラブ会員の質の向上、  
それは取りも直さず、各ロータリアンが  
ロータリー道場を通じて、  
自らの職業倫理を高め、人生を高めて行くこと。



## 2

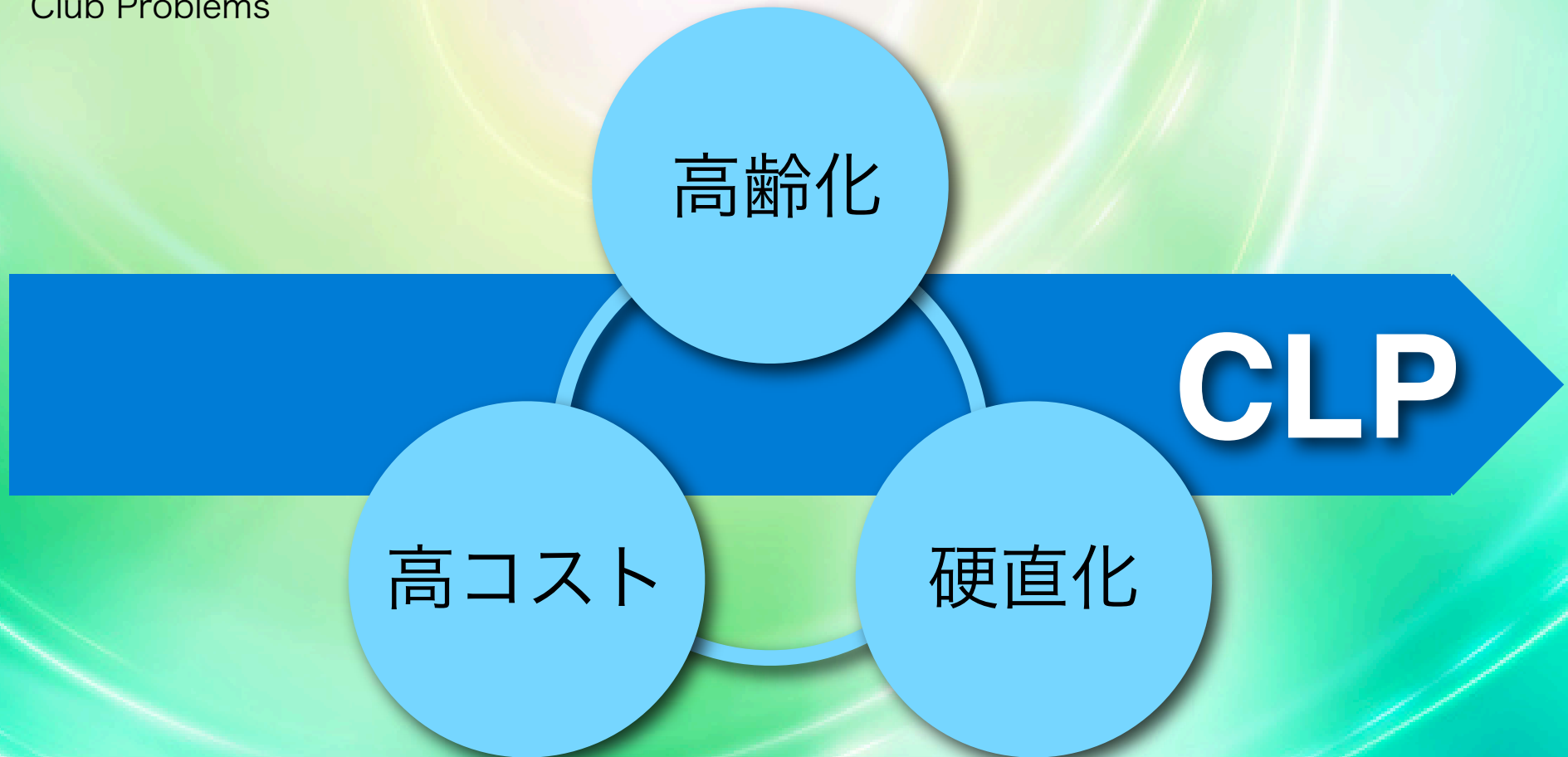
「クラブ発展のための**将来計画**を立て、  
その**実行に着手**しましょう」





## 3Kの問題

Club Problems





## CLP

Club Leadership Plan

- クラブの活性化
- クラブの発展化

各クラブが  
現在抱えている問題点を  
先ず検討する。

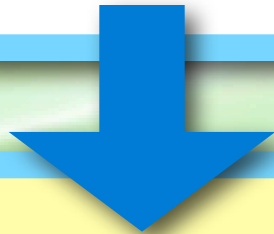
# CLP

各クラブが将来の  
発展計画を立てる

クラブの成長



**CLPの推奨は、クラブの自治権、裁量権が  
より一層拡大される方向性を示したものの。**



**クラブ運営は思い切った発想の転換で！**

現在の社会情勢とニーズにマッチした運営方法に変えていく必要が…。



3

「地区活動の**スリム化**に取り組みましょう」



ロータリーの活動は一般社会と同じで  
**「スクラップ&ビルド」**

ロータリーのいろいろな奉仕プロジェクトは**ツール**であって、  
ロータリーの究極の目的ではありません。

ロータリーの目的は、ロータリーの綱領に示されている**ロータリーの理念**を、  
**自分の家庭や職場、ロータリークラブ、地域社会や国際社会で**  
**ロータリアンが自ら実践し、そして世の中に広めて行くことです。**



**当地区では  
5,500名の会員数が  
4,000名に減少し、  
地区資金が3千万円以上減収!**



ロータリー活動の主体はクラブであり、  
「地区は事業主体にならない、クラブ活動を支援する立場にある」

「ロータリーは時代の変化と共に変わって行かなければならない」

ロータリーの創始者／ポール・ハリス



Rotary International  
District 2660

2008~09年度  
地区及び  
クラブ活動全般についての  
要請事項

2008-09







## 会員増強

### 各クラブが純増 1 名以上の目標で！

当地区全体では過去数年間、  
毎年360～370名前後、約9%ほどの会員が退会。  
期初会員数の12～3%以上の新入会者を目標に！

**会員の高齢化が進行している中で  
若年層と女性会員の増強を積極的に！**



## クラブの合併

**「地理的に可能である場合、  
会員数が20名未満のクラブは  
合併すべきである」**

ロータリー章典より(2004年11月改正決定59号)

2004年7月から2007年11月までの3年間に世界各地で  
88件のクラブ合併がRIで承認されています。  
この間日本でのクラブ合併は4件あります。



## ロータリーの公共イメージ

**RIは、  
ロータリーの公共イメージ向上のために、  
各地区に対して、年間最大1万ドルの  
広報補助金を支援する。**

ロータリーがどういう組織で、何をする団体なのか、  
明確なメッセージを一般社会に発信して行かなければならない時代になりました。  
地区レベル、クラブレベルで広報活動の推進をお願いします。



## 社会奉仕

**次年度各クラブは出来るだけ、  
「子供たちに光があたる」社会奉仕プロジェクトを  
実施出来るようにご計画ください。**

社会奉仕活動は会員とクラブが取り組み、  
地区は事業主体にならない。



## 青少年奉仕

地区青少年奉仕部門、各委員会の活動プログラム全般について  
各担当委員会で現在使用可能な地区予算を勘案し、  
どの程度の活動が適正か、  
各クラブが要望している活動にミートしているかどうか、  
クラブレベル、会員レベルの視点からご検討をお願いします。



## 国際奉仕

**WCSプロジェクトはクラブ主体で進めるという  
当地区の伝統的な方針を継続し、  
本年度は「子供たちに光が当たる」プロジェクトを  
優先的にご計画ください。**



## ロータリー財団

### 1

次年度R財団の活動方針の中で  
第一に挙げられていますのは**ポリオ撲滅**です。

2006年に口径ポリオワクチンを受けた子供の数は、  
世界36ヶ国で3億7千5百万人です。  
子供一人当たりのワクチン費用は米価60セントです。

当地区としては、R財団委員会で検討の結果、ポリオ撲滅のための寄付目標金額は、  
会員一人あたり**2千円以上**とすることにしました。







CAUTION: SHAKE WELL BEFORE USE  
STORE AT -20°C OR BELOW

MONOVALENT TYPE 1  
POLIOMYELITIS VACCINE, LIVE (ORAL)  
**mOPV Type 1**  
Live attenuated Sabin Strain Type 1  
Stabilized with MgCl<sub>2</sub> 1M  
(1 Dose = 2 Drops = 0.1 ml)  
20 Doses

Mfd. by: Panacea Biotec Ltd.  
A-24, Okhla Ind. Area-I, New Delhi-110024

MS16086  
2006  
2008

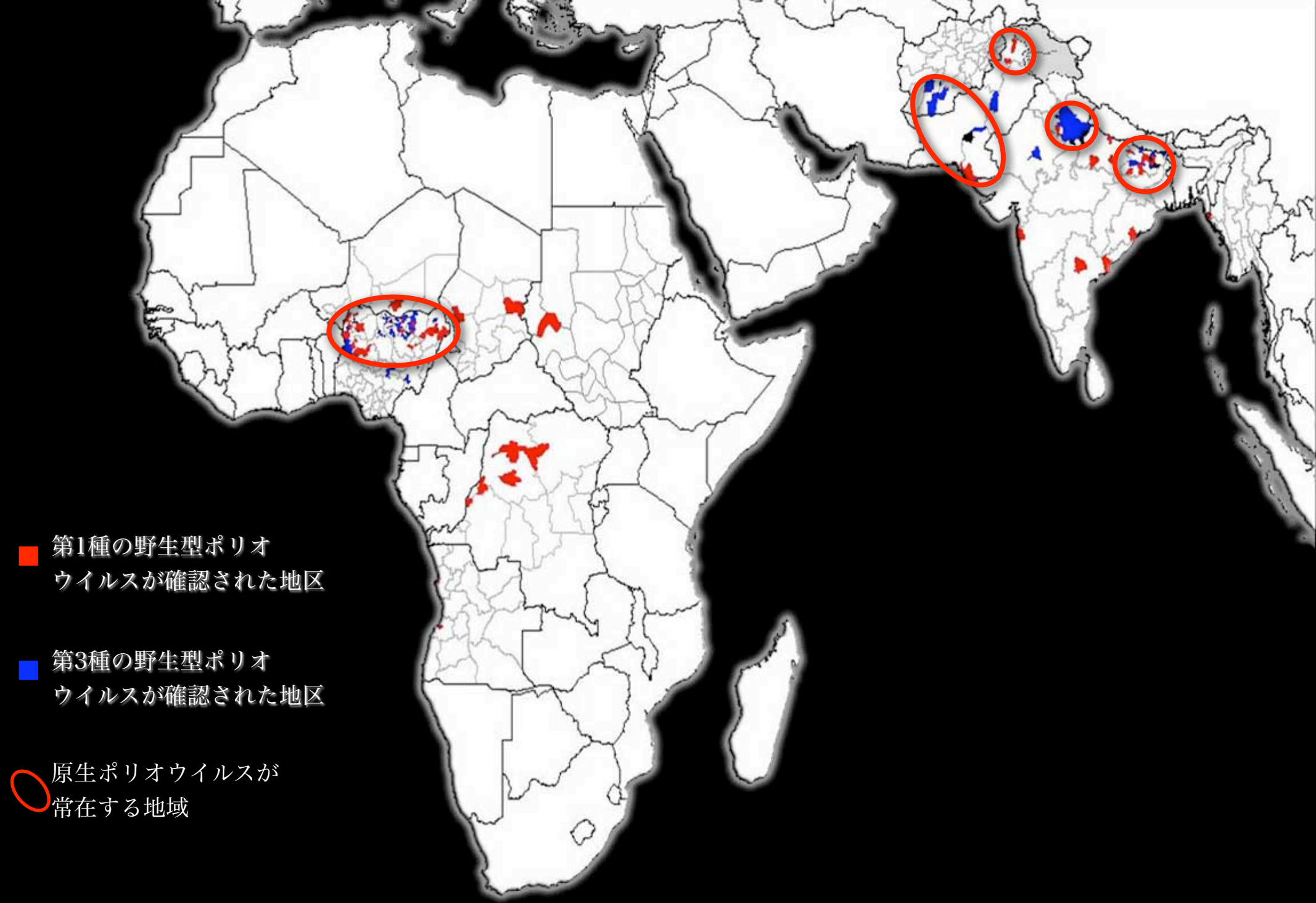


# ポリオ撲滅の進捗状況



1985

3; : 7¢422:

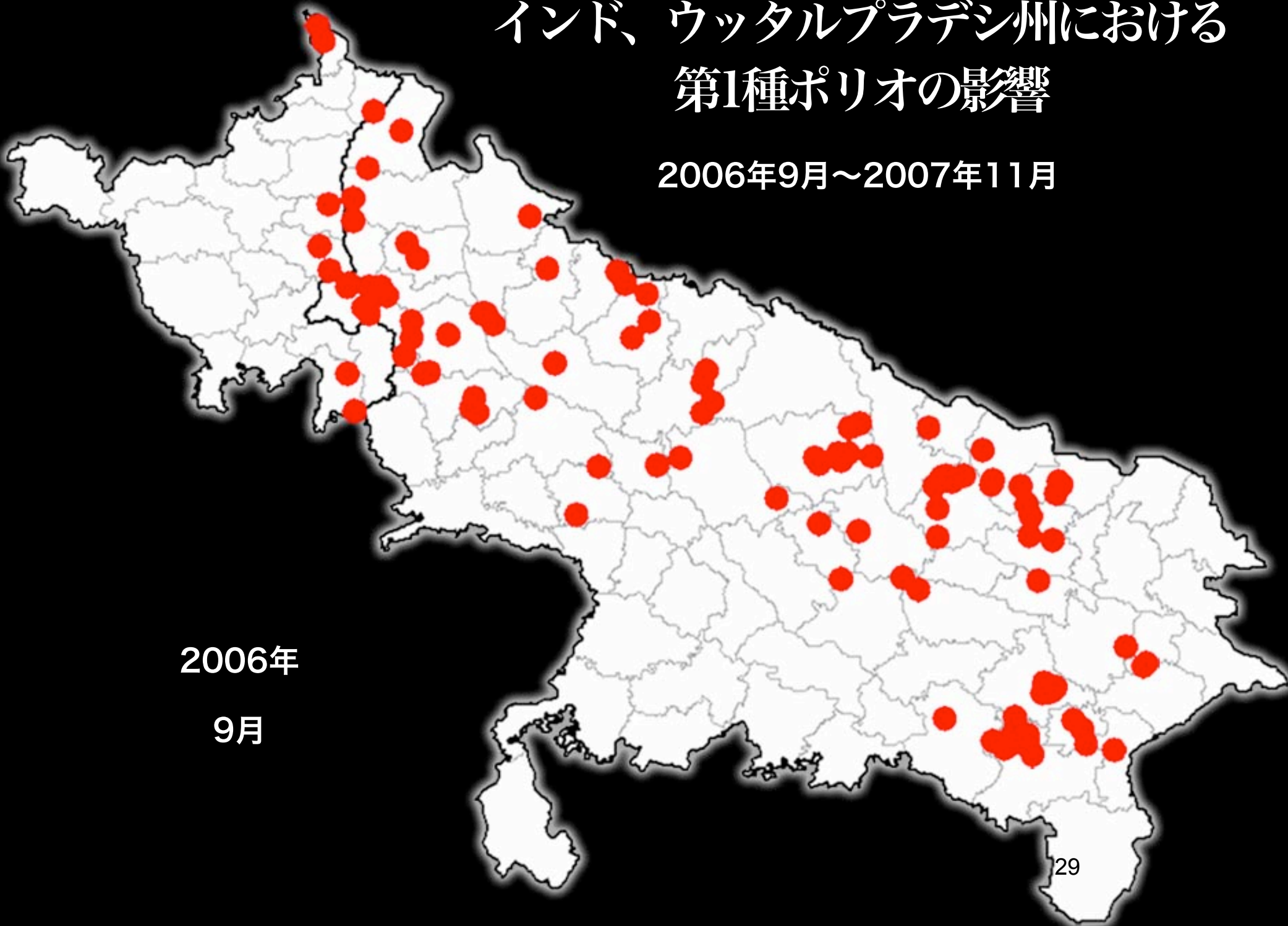


# インド、ウッタールプラデシ州における 第1種ポリオの影響

2006年9月～2007年11月

2006年

9月



# インド、ウットラルプラデシ州における 第1種ポリオの影響

2006年9月～2007年11月

2007年  
8月





## ロータリー財団

2

各クラブのWCSプロジェクト、及び社会奉仕プロジェクト実施は可能な限りR財団のマッチング・グラント(MG)及び地区補助金(DSG)を有効利用し、クラブ活動を活性化しましょう。

3

国際親善奨学生、世界平和フェローなどの候補者推薦、受入・派遣については各クラブの積極的なご協力をお願いします。



## ロータリー財団

4

次年度の研究グループ交換(GSE)はフランス1770地区と行います。

派遣：2009年3月／受入：2009年4月

各クラブのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

5

一般年次寄付については、

平均寄付額が\$130から\$150に達しておりますので、

次年度は\$130以上を目標にしましょう。

恒久基金への寄付は各クラブ1名以上を目指しましょう。





## 米山奨学会

日本独自の大変重要な、  
伝統ある国際奉仕活動です。

米山奨学会への寄付金は一人当たり **2万円以上**の目標でご協力ください。



## IMのテーマ

次年度はRI及び地区重点項目の中から、下記のようなテーマで企画し、  
クラブ間会員の親睦友好を図ってください。

- 1) 「子供達に光が当たる奉仕プロジェクト」
- 2) 「職業倫理向上に対する私の考え方」
- 3) 「私達のクラブ発展のための中長期計画」



Rotary International  
District 2660

2008~09年度  
地区重点活動項目

# かたちにしよう!

# 2008-09

35





Rotary International  
District 2660